



毎年4月行われている、全国学力・学習状況調査結果を分析したところ、学校以外での学習時間が多い地域と少ない地域では明らかな学力の差が出ています。学習塾に通っているかいないかという違いだけでなく、家での、いわゆる家庭学習（自学ともいう）への取組の差が学力の差につながっているのではないかということが言われています。長崎県においても学校以外での学習時間が全国的に見てもかなり少ないという結果が出ています。全国学力・学習状況調査で常にトップクラスの結果を出している自治体は、軒並み学校以外での学習時間が多いという結果が出ています。そこで今回は、常に上位に位置する秋田県の実践を紹介しします。家庭での自主学習の参考になれば幸いです。何回かに分けて掲載していきます。

自学のすすめ

緑の丘から

緑の誓い

自学（自主学習）をするメリット

1 勉強ぐせをつける

○各自のスタイルに合わせて、例えば短時間であっても毎日一定の時間、一定の分量をこなすことは、習慣づけのトレーニングになります。

2 基礎力のアップ

○計算問題、漢字練習等を繰り返すことで、ねばり強い姿勢づくりと、学力の基礎づくりに役立ちます。

3 創造性と自主性がアップ

○『何をやるか自分で決めて取り組む』 そのことの繰り返しによって**自分の頭で考え、行動する力** が身に付きます。

4 プレゼンテーション能力が磨かれる

○他者（担任や親、時には友達など）に見せることを前提にした自学（ノート）は、**見やすさ・わかりやすさを意識**し心がけ、一歩進んだ資料の活用、表現方法を工夫するなどのトレーニングになります。

5 子どもの学習進行度が把握できる

○自分の子どもが、学校でどの単元まで進んでいるのか把握するのに役立ちます。また、授業についていけているかどうかの目安にもなります。

6 子どものコンディションが把握できる

○子どもの気分がどんな状態にあるのかが、その日のノート（文字やまとめ方）にあらわれます。毎日続けることで、心身のコンディションを把握するバロメーターにもなります。

7 コミュニケーションツールとしての役割

○親や担任が、子どもの取組に対してコメントを返すことで、「自分を見てくれている」「気にかけてくれている」というメッセージになり、安心感を与えられます。

☆☆☆☆☆
み心き進さ
んをまんわ
なこりでや
とめを勉か
仲て守強にあ
良掃りをい
く除ますさ
しをすつ
ますすすす

